

# 令和5年度 第5回 清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和5年12月15日（金）15：00～16：15

2 場所 鈴鹿市立清和小学校 図書室

## 3 議事

### (1) 地域学習について

- ・話を聞いて、実際に行ってみたい、もっと知りたい等の感想が出ている。知ることによって地域に愛着を持ち、携わろうという思いをもつことにつながっていけるとよい。成果を感じる。講師になっていただいた方、発表を聞いていただいた方の意見をいただきながら来年以降さらに充実したものになりたい。
- ・今年はプロジェクターを用いて発表をしていた。わかりやすかった。進歩したと思う。
- ・5年生10人ぐらいがタブレットで写真を撮ったりしてくれた。10人ぐらいがちょうどよい。子どもたちに伝わりやすいよう、資料や過去の写真を一緒に見ながら進めた。よく見て、聞いて、多少は理解できたと思う。今後、5年生が4年生に説明するための作業をする時、再度講師が加わり、という確認したり、一緒に資料を作ったりするのもいい。
- ・「おんない」の話の中で、私も出たいと言った子に対して、すぐに返答ができなかった。衣装など必要なものもあり、対応に迷った。地域側も、今後「おんない」を続けていく上で、考えたり変わったりすべきことがある。こちらも気づかされることがあった。

### (2) 令和5年度学校関係者評価について

- ・長欠の子ども、原因が見えないとすると、対応が難しくなる。
- ・家庭で子どもと家族が話題を共有できるよう、学校からの情報発信を増やすべきではないか。
- ・教職員と関係を深めるには、保護者も積極的に話をしていく必要がある。
- ・地域へのメール配信の数が減っている。学校からの発信が減っているのかもしれない。

### (3) 児童用図書購入について

各学年1万円の予算で学級文庫を整備したい。⇒承認

4 鈴鹿市教育委員会事務局 CSアドバイザーより

- ・地域学習は、非常に良い取組。5年生が聞いて4年生に伝える。これを続けていくことで、地域のへの理解が深まっていく。低中学年時の町探検等を想起させ、関連付けるとよい。
- ・学校関係者評価について、数値を根拠にしてあるが評価する側からは見にくい。改めて行を設け数値目標が達成されているかを表記するなど、読みやすい工夫が必要。
- ・クロームブックを用いて時間割や宿題を伝えるといった活用により、保護者から子どものことが見にくくなっているという話が出された。それについては教育委員会に持ちかえり共有する。
- ・子どもと話題を共有するために、ホームページ等も活用するのもよい。学校も、工夫して発信してもらいたい。
- ・学級文庫の充実について、古本も活用するとたくさん整備できる。年度初めに読まなくなった本を寄付してもらえよう呼びかけることもよい。地域との連携により、読書活動を充実させていきたい。